

成果の説明書

(氏名) 木下 (内藤) まゆみ	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>◆研究</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・集団討論に関して 内藤まゆみ 2015 ディスカッションを中心とした学習の教育効果(2)：聞き手による言語的・非言語的応答の発言統制機能 高崎経済大学論集 58(3), 47-54. 2016年5月のInternational Congress of Psychologyにて発表予定</li><li>・集団における相互作用に関して 集団討論を成立させる社会心理的基盤について、非言語的要素に焦点化して先行研究をまとめている。それに際し、社会心理学における同調的行動研究と会話分析でのマルチモダル分析の領域を中心にした。</li><li>・認知療法に関して 前年度は、認識変化におけるフィードバック・フィードフォワードの両プロセスに着目して先行研究を概観したが、これら2つの時系列的プロセスと、心理学における2重過程モデル、合理的思考と直観的思考という内容的プロセスの照合を試み、そのための資料収集およびパイロットデータを収集した。</li></ul> <p>◆授業以外の教育への取り組み</p> <p>ゼミ生および授業受講者を対象に、コミュニケーション力の向上を目的としたワークショップを開催した。インプロ・ジャパンより講師を招聘し、即興劇を中心としてコミュニケーション・チャネルの意識化を図った。振り返りでは、参加者より極めて肯定的な評価がなされ、一定の教育効果を上げたものと考えられる。</p> <p>◆テキスト出版</p> <p>心理学の入門書の作成に向け、出版社と最終的な打ち合わせを行った。</p> <p>◆社会活動</p> <p>日本パーソナリティ心理学会学会活性化委員として、大会発表賞の選考に関わる活動を行った。</p> <p>日本パーソナリティ心理学会常任編集委員に就任した。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>高崎経済大学附属高等学校にて、出前授業を行った。</p> <p>群馬県発達障害者支援センター主催のシンポジウムにて話題提供を行った。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・集団討論に関して 今年度の研究を発展させ、聞き手の議論活性化手がかりを意図的に促進しうる具体的方法とその効果について検討する。 集団討論の社会心理的基盤について、先行研究のレビューを通じて、理論的背景の整理と課題の考察を行い、その成果を論文にまとめる予定である。</li><li>・認知療法に関して 時系列と内容の2つの観点から、新しい認知療法（マインドフルネス認知療法、アクセプタンス・コミットメント・セラピー）を捉え直し、新たな理論枠組みを考察する。</li><li>・テキスト出版 来年度中の原稿完成を目指す。</li></ul>	